

がんばろう  
南三陸町  
復興第4号

南三陸マイタウン情報

発行所  
マイタウン企画  
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84  
TEL(46) 3069  
後援:  
志津川広報センター



12月定例議会  
一般質問 6 議員

戸倉折立地区

◆大瀧りう子氏  
「防災計画に原発対策も」

①町は女川原発から30km圏内にある。町長は脱原発を掲げるべきだ。町の防災計画にも原発対策を含めるべきでは②震災後の障害者は増えたか。

町長 ①国に安全性を求める。安全がしっかり確保されれば、女川原発は再稼働してもいいと考える。地域防災計画は最大規模の災害に備える内容にする。

保健福祉課長 ②新たに障害者手帳は発行していない。

◆山内昇一氏  
「農林水産業支援と議会中継は」

①震災で被災した農林水産業の再生が遅れている。復興支援策は②震災によってインターネットによる議会中継が中断。町外の仮設住宅入居者などから議会傍聴ができず不便との声がある。再開時期はいつか。

町長 ①農地の再生は災害査定が終了した段階で対策を講じたい。②議会中継システムは仮庁舎の完成後、速やかに導入できるよう事務方に指示している。

◆千葉伸孝氏  
「高台移転と人口流出」

①高台移転に伴う公営住宅への入居時期はいつか②企業の規模によって補助制度に格差はないか③人口流出の防止策は。

町長 ①28年度末に建設最盛期を迎える。入居開始は25年度末を予定している。②格差はないと考える。中小企業基盤整備機構など、今後も支援が受けられそうだ。③高台への宅地造成、公営住宅の整備、雇用確保に努めたい。

◆菅原辰雄氏  
「児童・生徒の教育環境は」

教育現場の現状と課題をどう捉えているか。被災した学校の復旧は。

教育長 震災の影響で変則的な学校運営を強いられており、かつてない厳しい教育環境にある。スクールカウンセラーを配置し、児童・生徒の心のケアに取り組んでいるが、家庭と連携しながら課題を解決していく。「自分の命は自分で守る」という防災教育にも積極的に取り組みたい。

戸倉小学校の復旧は不可能。戸倉中、名足小は修復したい。

◆鈴木春光氏  
「高台移転と入中活用は」

①高台移転などが、進んでいないという町民の声が聞かれるが進捗状況は②旧入谷中学校を活用し

た、繭の加工場の跡地利用はどうなったのか。  
町長 ①現在、住まいの住民意向調査をしている。1月までに調査結果をまとめ、来年度中に多くの土地で造成工事に着手できるよう努めたい。②企業から申し出があるが、本契約に至っていない。近いうちに事業計画が提出される。

◆星喜美男氏  
「建築資材高騰対策と消防体制」

①建築資材の高騰や品薄で、再建の足かせになる可能性がある。行政の厳しい監視が必要では②消防団員の安全確保を考えるべき。団員不足による班の再編は。

町長 ①受給バランスは回復しているが、動向を注目している。②地域防災計画の見直しに合わせ、消防団員の安全確保マニュアルを作成する。班の編成し直しは、消防団幹部と協議していく。

“絆”  
種子島から愛を込めて

辞書によると“動物を継ぐ綱”【断つには忍びない結びつき】と書いています。

11月23日、縁あって種子島出身の歌手小倉信二氏『種子島夢大使』より種子島特産の安納芋を焼芋にし南三陸の被害者の皆様に御馳走して元気になって頂きたいとの催しを「平成の森」を会場に開催しました。

会場手配等の準備はスムーズにいったものの問題はどれだけの来場者があるか、一応予定者数を決めそれに見合う数の焼芋を作る事で取り敢えず涌谷町役場よりドラム缶カマド十個を借用、アルミホイールに包み初歩的な焼き方と涌谷町社会福祉法人共生の森にお願いし、営業中の石焼釜を借用する事にし、当日は施設長及び取扱と焼芋職人の3人が駆け付けて頂き本物の石焼芋を提供出来ました。又、現在住んでいる地区の方々には前日よりアルミホイール包みをして頂き、当日は早朝より出演者やスタッフの昼食にと涌谷産の新米でおにぎりを握って持参、着く早々来場者への芋の袋詰め等して頂きました。

又、スタッフが足りないのではと心配になり今回の震災の支援活動で知り合った、築館のキリスト教会を母体にした国際ボランティア、アメイジング・グレース、ネットワークにお願いし米国家族を含む8名に協力して頂き来場者に殆ど待たせることなく焼芋をお渡しする事が出来た。

何よりも嬉しかった事は、大森創作太鼓“旭ヶ浦”の友情出演で舞台上に華を添えて頂いた事です。さつま芋の蔓ではないが芋蔓式に(悪い語意でなく)助けられ支え合い様々な形から生まれた結びつき《絆》を強く感じた一日でした。

(平成の森テニスコートの畠山自治会長さん、歌津総合支所町民福祉課千葉課長さんのご協力に感謝申し上げます)

涌谷町 阿部武彦

明年も情報をお届けします。

●●● 南三陸町からの発信 ●●●

♥防寒対策

南三陸町では国の補助金で暖房機器を備品として貸し出すという。石巻市では防寒対策としてNPO法人が、被災した6400戸にストーブ・電気カーペットを無償支給するという。どうしてこんなにも、南三陸町は違うのだろうか。

♥死亡者・行方不明者

現在の死亡・不明も知りたいと思い、町の危機管理室に問い合わせしてみた。12月5日現在、警察署発表では死者565人不明310人、住民基本台帳では死者496名不明302人だと言う。

最近DNAでの判定結果で身元がわかるようになり、葬儀をする方が多くみられる。この数字にも表れている。警察署発表の数字には町外から来ていた人も、南三陸町で死亡不明になっており、その数もふくまれている。

♥町外のみなし仮設住宅

議会で「みなし仮設」が報告されていた。県内に591世帯1835名が、県外には6世帯13名が住んでいるという。死亡不明788名で合計2500名、登米市への居住もあり500戸1500名としても、「4000名」！。人口の減少は町の10年後への影響はないのだろうか？予測3000人減は、想定の甘さでしかなく一日も早い住民の生活の場と雇用、病院の確保が必要と、強く思うのだが…。



天王前の仮変電所  
(戸倉地区の水道管が凍結による断水が起きている。寒さはこれから！)

〈南三陸町議会が紛糾〉  
●印刷物発注巡り「兼業禁止」に抵触の可能性を指摘。住民が町監査委員に「監査請求」を提出。

●一般会計が70億円を加えた273億4300万円となる。22年度は82億2300万円余り、災害予算が大幅に増加している。

〈法テラス〉  
●27日年末相談を南方仮設住宅駐車場で移動開設。  
●「殉職職員家族会」が佐藤町長に再び公開質問状。牧野駿さんら代表3人と遺族15名が、町長の責任や合併5年以内の庁舎建設など15項目を26日までに回答を求める。

〈マルセン食品再開〉  
●南三陸町の名産「志津川タコ」が復活する。年末年始の食卓にはかかせなく、町民は楽しみにしている。店舗は仮志津川魚市場前。

●歌津地区での仮設生活者に、神奈川県から「2067個の湯たんぽ」が届く。

〈公立志津川病院開業目標は28年度〉  
●23年度内には仮設病院が建設される。本設には本体が30億、設備に30億、設計に1億の61億で28年度の開業の目標と見込み説明がなされた。

希望

明年が皆様にとって  
希望あふれる一年と  
なりますように！

マイタウン企画

南三陸町志津川字沼田 150-84  
TEL(0226)46-3069

旭ヶ丘の仮設店舗で営業始めました



TEL 080-2256-0703

年内無休(29日要予約) 廻館 15-137

フミエ美容室

〔定休日〕1月～毎週月曜、第1第3日曜日

なんでもご相談ください！

☎ 080-1801-8282

保険代理業  
(株) 損保ジャパン代理店  
損害保険 生命保険

入谷字桜沢 21-1 フォーカスクローキング敷地内

(有)くどう総合保険

感謝

多くのご支援に感謝し  
明年が幸せな年になりますように！

千葉総合印刷(株)

千葉賢二郎

戸倉営業所 南三陸町戸倉字町 57  
TEL・FAX(0226)46-8690